

よりそう

Side by Side

2011.10.5(水)

100号準備号①

編集責任: カムラ

ボランティア体験記

鳥取 中井翼

「遠野まごころネット」で活動した5日間は多くのものを得た充実した日々でした。

日々色々と学び、教えていただきましたが、その中でも一番感じたことは「地道な草の根活動こそが今本当に必要とされている」ということでした。活動の初日は大槌町のある畑のガレキ除去のお手伝いをさせてもらいましたが、大小様々な石ころ、ガラスの破片、陶器のかけらを一つ一つ手作業で取り除いていることを初めて知りました。多くの海沿いの地域で重機がガレキを撤去していく様子を見ていたので最初は自分の手の力のなさを感じていました。ですがその畑の持ち主の方が「この畑に来年作物を植える」とおっしゃっているのを聞いて「この畑を絶対きれいにしたい」と思いその後の作業を必死になってやりました。

どの活動にも何らかの意義があること、たくさんの人たちがその意義を大切にして地道な活動を長期に渡って行なっていることを忘れてはならないと思いました。

また滞在中は人の縁の温かさをたくさん教えてもらいました。自由に食べられる賞味期限切れのラーメンばかり食べている自分に食べ物を恵んで下さったたくさんの方、日々の活動をサポートしてくださるボランティアの先輩の方々、快適な日常を支えてくださる内勤の方々やセンターの方々、そして地元遠野の方々、その他多くの人たちに支えられて5日間を無事過ごすことができました。ボランティアとして役に立つはずが、結局助けられることばかり、本当に感謝の言葉しかでできません。この場を借りてお礼を申し上げたいと思います。

今回は支えてもらってばかりでしたが、また次に来るときにはもっと自分からできるものが増やせるようにして来たいと思います。まごころネットでボランティアを続けられるみなさま、これからもっと寒くなりますが体調に気を付けて息の長い活動を続けていってください。

<編集追記>中井さんはお医者さんを目指して勉強中の大学1年生です。現場でのガレキ撤去のほか、仮設住宅で住民の方とお茶を飲み、タッピングタッチというマッサージの一種をする「ふれあい隊」にも参加しました。将来はお年寄りのための医療に貢献したいという夢を持つ中井さん、きっと今回の体験をその夢に生かして大きく羽ばたいてくれると思います。



音楽と笑いで被災地に元気を!

3日夜、めおと楽団“ジキジキ”的お二人、世田谷きよしさん、かおるこさんが会議室にてボランティアのために演奏会(演芸会?!)を開いてくださいました。シャンソンや寅さんのテーマなどの懐かしのメロディにのせて流れる二人の掛け合いに会場は爆笑の連続。お二人は「笑点」への出演のほか、コロッケや演歌歌手のコンサートなど全国各地を休みなく飛び回る多忙な「楽曲漫才」師、今回は仙台でのチャリティーコンサートへの出演の後、大槌で老人ホーム、介護施設等を訪問、その足で遠野にいらしてくださいました。以前から石巻にご縁があったかおるこ

ミーティング(10月5日19:00~20:00) (体育馆)、10月6日(木)は大そうじです。

さんの希望で震災発生後、二人は4月に避難所を訪問、その後も6,7箇所を数回に分け訪れているそうです。「避難所ではショックで何も考えられない状態の方がが多い中での訪問でした。“いつときは楽しかったが帰ったあとが寂しいんだ”と言われ、このまま続けていいのか悩むこともあった」ときよしさん、「明日は大槌の仮設住宅を訪問します。アコーディオンやピアニカを鳴らしてみて、出てきてくれた方にほんのひとときの間だけ、とにかく思い切り笑っていただきたいのです。」

気になるのは家から出てこない一人暮らしのお年寄り。「仮設に移りふと気がつくと知り合いもいない、交通の便もない、何もない。そう感じて以前より落ち込んでいらっしゃる方がたくさんいらっしゃるんじゃないと思う。外から聞こえてくる僕らの奏でる懐かしい音色に誘われて一步家から出てきてくださいとでもうれしい」と。

「被災者の方に“久しぶりに笑った”と言ってもらったときは本当に嬉しかった。音楽と笑いは、今一番足りてないもののひとつだと思うのです。東京の団地とは違う種類の孤独に包まれている仮設のお年寄りの方に、誰にでもとっつきやすい僕らの音楽と笑いでちょっとでも元気を出してもらえば」と控えめに語るお二人。しかし「東京に帰ったら今の状況を伝えることも僕らの大変な仕事です。」と最後は力強く締めくされました。

まごころの郷づくりレポート



Vol.2 寄稿:宮本班長

10月3日 作業初日、総勢6人のメンバーで大槌町蕨打直に乗り込みました。鎌、スコップ、鶴ハシ総動員で昼前には一日の目標 $5 \times 5 = 25\text{ m}^2$ 完了の目処が立ちました。気をよくして昼休みを長めに取ったのですが、メンバーはじっとしていると寒いといつて作業開始10分前には畑起こしに取り掛かりました。尻に火をつけられた感じです。結局14:30には目標の 50 m^2 を終了し遊歩道(プロムナード)の花壇の整備をしました。万万歳。遠野のセンターに帰ってびっくりあんぐり。どないせいかううんじや、明日から小屋造りの作業が始まる。「図面もできる、手配もしてね、がんばって」言うのは簡単、するのは大変、人集めどないせえちゅうんじや。ミーティングで呼びかけたものの夜の時点で応募ゼロ。またなるようしかならん。明日の風は明日吹く。(続)

10/5(水)宿泊 1人 池澤かず 人 詳しくは編集部まで